

いしかわ動物園

オニオオハシの繁殖に初成功！ ライブ映像公開！

オニオオハシのヒナが2羽が自然孵化しました。

北陸では初の繁殖成功で、全国的にも成功例は少なく、今後の成長を慎重に見守っていきます。

1 ライブ映像の公開と特別ガイド

- (1) 6月24日(土)から南米の森展示場で、巣箱の中の様子をライブ映像で公開します。

※体調等により、ライブ映像がご覧いただけない場合があります。

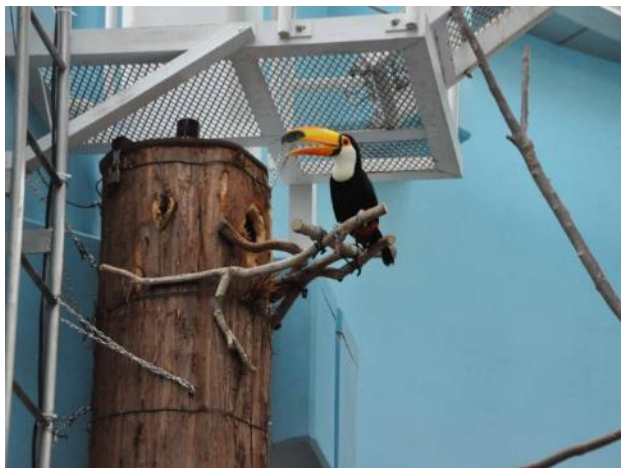
- (2) 特別ガイド

6月24日(土)10時から、ヒナ誕生特別ガイドを行います。

※25日(日)以降は、ヒナ誕生特別ガイドは当分の間15:10から行います。

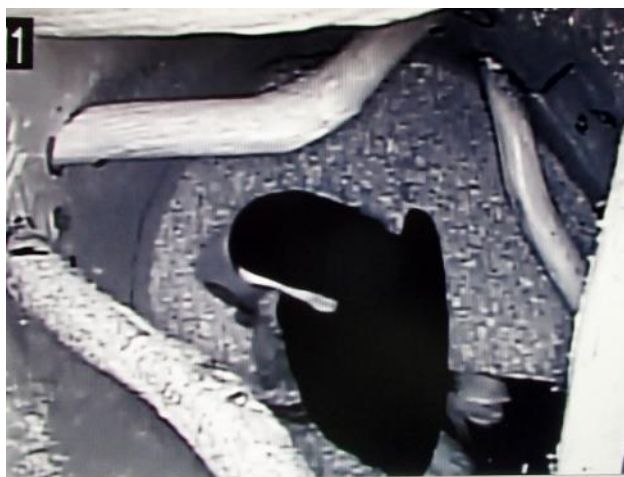


<写真1> 2羽のヒナ (6/20 撮影)



<写真2> 巣箱

(高さ 1m、外径 49cm、巣穴の直径 12cm)



<写真3> 親鳥が口移しで給餌(監視カメラ映像)



<写真4> 3個の卵を産卵(監視カメラ映像)



＜写真 5＞監視カメラのライブ映像



＜写真 6＞両親：

左がトコトン(オス)右がマリリン(メス)

＜繁殖の経緯＞

(1) 5月19日、21日、23日と一日置きに1卵ずつ計3卵を巣箱の中で産卵しました。

その後、雌雄が交替しながら抱卵を続けていました。

(2) 6月6日と6月7日に1羽ずつ、計2羽が自然孵化しました。

孵化後、コオロギやピンクマウス、ビッグミルワームなどのタンパク質を多く含むエサを増やし、親鳥の行動とヒナの成長を慎重に見守っています。♂♀の親鳥が口移しに給餌している姿を見ることができ、2羽のヒナは順調に育成しています。

(3) 孵化から45～60日位で巣立ちます。このまま順調にいけば7月下旬から8月上旬に巣立ち、その姿を見られるようになると思います。今後も、慎重に見守っていきます。

＜参考：オニオオハシについて＞

- ・全長約60cm、南アメリカの熱帯雨林に住み、果物・昆虫・トカゲなどを食べます。
長さ20cmもある大きな黄色いクチバシが特徴で、南国ムードが漂う魅力いっぱいな鳥です。
このクチバシは見た目の割に軽く丈夫です。
- ・全国14園で飼育(2016年日動水調べ)

＜写真を提供します＞

- ・ダウンロードはこちらから → <http://xfs.jp/xRiuvk>
- ・6月27日までダウンロードできます。
- ・うまくダウンロードできない場合は press@ishikawazoo.jp までメールをお送りください。
- ・提供画像を使用する際には「いしかわ動物園提供」とクレジットを入れてください。

お問合せ

いしかわ動物園
能美市徳山町600番地
TEL 0761-51-8501
FAX 0761-51-8504